

事務事業評価における総括

部 局 名	消防本部	記入責任者	小澤 幸雄
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>消防本部の第3次実施計画の事業数は、「災害応急対策活動」、「庁内共通事務」、「部内共通事務」を除き、82事業あります。このうち、事業の指標を概ね（80％）達成し、成果があがった「S」評価事業が74、未実施「Z」評価事業が5、事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める「C」評価事業が3となっています。</p> <p>また、業務計画に位置づけた事業では、2事業は「C」評価となっていますが、その他の33事業については全て指標を達成し、「S」評価としています。</p> <p>このことから、消防本部の事業は、ほぼ順調に実施できていると評価しています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>消防本部の事業は、概ね、指標の達成ができている事業で、事業の指標や評価を適切に判定できる設定となっていたと考えています。</p> <p>「Z」評価の事業としては、中核市移行に関連する事業が主となっています。平成28年度は未着手となっていますが、移行の時期に合わせて今後事業を実施していきます。</p> <p>「C」評価となった3事業については、財政状況を鑑み、関係各課との調整や総合的に整備に係る再検討を行い事業の先送りをしたもので、事業実施時期については、今後もより効果的に遂行できるよう調整していきます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>概ねの事業が指標を達成し順調に実施できているため、今後も継続して事業を進めてきます。</p> <p>今後の方向性については、消防力の充実強化及び財政負担の軽減を図るため、寒川町との消防広域化を検討していくとともに、消防署本署の再整備や増隊となる救急隊の円滑な運用に向けた準備を実施していきます。</p> <p>その他にも、火災予防に関する普及啓発、救命に関する知識、技術の普及活動及び消防団員と連携した消防訓練等を通じて、市民への働きかけを実施し、安全、安心なまちづくりに向けて事業を実施していきます。</p> <p>また、更に効果が見込める事業の検討や更なる事務の効率化を図り、今後も市民サービスの向上につながるようしっかりと計画を立て、政策・施策目標の達成に向けて事業を実施していきます。</p>			